<　あなたの治療について　>

血内 - venetoclax - AZA 点滴（7 日連続） - AML - q4w

今回の治療は、venetoclax-AZA 点滴（7 日連続）という治療法で、ベネクレクスタという内服薬とビダーザ（ AZA ）という注射薬を併用して治療を行います。ベネクレクスタ、ビダーザは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2 つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は、２８日間が１コースとなっています。ベネクレクスタ錠は毎日服用します。また、各コースの１～７日目に点滴を行います。この治療を２８日間 ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎１コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 （薬の作用）	投与	1～28 日目
①	ベネクレクスタ （抗がん剤） 1 日目 100mg/body 2 日目 200mg/body 3 日目以降 400mg/body	内服	

順序	薬剤商品名 （薬の作用）	投与	1～7 日目	8～28 日目
①	グラニセトロン （吐き気止め）	点滴 約 15 分		お休み
②	ビダーザ （抗がん剤） 75mg/㎡	点滴 約 10 分		

★　点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、体を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

ベネクレクスタとビダーザによる

●白血球減少、好中球減少、血小板減少　●悪心、嘔吐、食欲減退　●便秘、下痢　●感染症　●発熱
●注射部位反応（紅斑、発疹、そう痒感、硬結等）

◎特徴的な副作用について

ビダーザにおける

●腎障害

「尿量が減る、むくみ、体がだるい」などの症状

●間質性肺疾患

「咳、息切れ、息苦しい、発熱」などの症状

●腫瘍崩壊症候群

「意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ」などの症状

＊上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

＊この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。
これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。
また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。

抗がん剤投与
数時間～数日
- ○ 悪心・嘔吐・食欲不振 ○ 倦怠感 ○ 発熱
- ○ アレルギー反応（皮膚の赤み、かゆみ、じんましんなど）

数日～数週間
- ○ 出血（鼻血、歯茎からの出血、青あざ）
- ○ 感染しやすくなる（発熱、肺炎など）
- ○ 脱毛 ○ 口内炎 ○ 下痢、便秘、腹痛
- ○ 手足のしびれ ○ 関節痛

数週間～数ヶ月
- ○ 色素沈着（皮膚や爪が黒くなる）○ 貧血（めまい、たちくらみ）
- ○ 爪の変化 ○ 味覚の変化 ○ においに敏感になる

数ヶ月～
- ○ 腎障害（きわめてまれ）

◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ベネクレクスタ】

[腫瘍崩壊症候群] 不整脈、けいれん

[骨髄抑制] 貧血症状、発熱、出血傾向

[感染症] 発熱、倦怠感、さむけ

【ビダーザ】

[骨髄抑制] 貧血、発熱、出血傾向

[感染症] 発熱、体がだるい、風邪のような症状

[出血] 頭痛、腹痛、眼からの出血、尿に血が混じる、手術創部からの出血

[間質性肺疾患] せき、呼吸困難、発熱

[心障害] 動悸、胸が痛い、むくみ、息切れ

[ショック、アナフィラキシー] 呼吸困難、顔面蒼白、眼や口唇のまわりのはれ

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。